

祝成人 盛大に開催

竜丘地区成人式



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口	7,057人
男子	3,424人
女子	3,633人
世帯数	2,445戸
(25年2月末現在)	

厳しい冷え込みの続く一月十三日に、竜丘地区成人式が、竜丘小学校卒業生七十九名のうち、六十七名の新成人を迎え、華々しく盛大に開催されました。



開式前、色とりどりの晴れ着姿やスーツの新成人で、会場となった公民館大ホールは、華やいだ雰囲気にもまれ、久しぶりに会った友人と話をしたり、写真を撮り合ったりして、昔をなつかしむ姿が所々で見られました。



オペレッタの歌を合唱

新成人、来賓の方々が一緒になりテーブルを囲み、おいらんぼうぶらザ、野樂路の皆さんの心あたまる豪華な料理に舌鼓を打ちました。すこしお酒も入り記念の写真撮影

記念式典では、新成人の門出にふさわしく、鈴木太鼓の皆さんによる勇壮な祝いの太鼓の披露があり、その力強い演奏に、新成人は心を打たれ聴き入っていました。式典と記念行事の司会進行を実行委員の新成人下平新緑さんが担当、厳粛な雰囲気の中、木下和彦公民館長が、ある企業の海外市場調査の話や、なに事にも、希望をもった考え方でできる大人になって下さいと挨拶されました。

来賓祝辞、祝電披露につき、新成人を代表して、坂本小春さんが挨拶され、「再会した友達の昔と変わらない笑顔に出会えて元気がなれた。これから大人として社会に貢献していきたい。同時に社会の枠にとらわれない自分でありたい」と語られ、会場から大きな拍手が贈られました。



祝 竜丘地区成人式



司会を勤めた二人



年の時、飯田文化会館で発表した「ソウ列車がやってきた」のビデオを上演、当時の顔が映ると会場から大きな歓声がわき、個々の名前があちこちで聞こえました。その後、当時の担当をしていた先生が挨拶され、その時に発表した「オペレッタの歌」を会場全員で合唱し、式典を盛り上げました。続いてビデオレターが放映されました。これは実行委員の皆さんが、現在恩師が赴任されている地域に、県内を回って編集されたものです。先生方のメッセージは、昔のなつかしい思い出話があり、成人の皆さんは笑ったり、うなずいたり、メッセージに見入りました。

「地産地消」と言う言葉がある。意味としては、地元で生産した物を地元で消費していく事です。今、学校給食でも取組まれています。生産した物ではありませんが、会合、慰労会、忘新年会などで、地元の飲食店を利用するのも一種の地産地消になるでしょう。

一月十三日に「成人式」が行なわれました。今年も各地で、多くの成人が生まれました。竜丘地区においても、実行委員会を中心に素晴らしい式典が行なわれました。例年の事ですが、地元で大学が無いなどの影響で、地元に住んでいる成人の方が少ないのが実状でした。しかし、竜丘で生活していた時間の方が長かった事も事実だと思えます。さて、竜丘で過ごした時期に、どれだけ竜丘の良さや、竜丘を思う「地産地消」にも、どれだけ接してこれたでしょうか。地元に残らなくても、今まで竜丘で培ってきた事が、今後の人生の参考になって行けたら「地産知生」になるのではないのでしょうか。

ヤブ取

桐林クリーンセンター協定事項 最終の見直しに調印

平成二十四年十二月二十二日に桐林
クリーンセンターにおいて見直し協
定書の調印式が行われました。

桐林クリーンセンターの協定事項の見直しについては、平成十四年の稼働から五年ごとに行っており、今年度は、その年となりまして、竜丘自治会では、年度当初から見直し作業に着手。南信州広域連合と飯田市と結んだ協定内容の進捗状況を確認するとともに、新たに追加的な要望があるのかどうか、各区において意見集約をしながら検討を重ねてきました。

桐林クリーンセンターに係る協定書については、「桐林クリーンセンター新焼却場建設に関する基本協定書」「新焼却場設置に係る環境保全協定書」「新焼却場建設に係る地域振興に関する協定書」の三種類がありますが、このたび、見直しの対象とした協定書は、基本協定書と地域振興に関する協定書となりました。竜丘地区内では、これまでに見直しのため検討委員会を立ち上げるとともに、「地域振興に関する協定に関する覚書」を新たに追加。協定検討委員会における検討を経て、桐林クリーンセンター連絡協議会で最終的に見直しのための協定書の内容を決定しています。



桐林クリーンセンター新焼却場基本協定の見直し協

かなやまさま

ふるさと学習会in長野原

ふるさと学習会in長野原が金山神社事務所、十二月十二日、とても寒い日でしたが約二十人の参加者で開催されました。長野原の歴史を研究した小林文次郎氏の記録(通称小林文次郎見聞録)を参考に、長野原歴史研究会(会長小林寿保)の皆さんがこれまでの調査で分かったことをわかりやすく解説くださいまし

た。金山神社の祭神は金山彦命で、健治年間(一二七五

市や広域連合においては誠意ある取り組みを頂いた」と感謝。平成二十九年十一月以後の施設移転に係る後利用については、「今後とも協議を継続し、利用価値の高いエリアにしたい」との

第十八回 ニューイヤークンサート 華やかに多彩な演奏

去る一月二十七日に、竜丘公民館で第十八回ニューイヤークンサートが開催されました。時又保育園児によるマーチングバンドで、賑やかで華やかに開演しました。その後、大人の学校もみじくらブによる「ドナドナ」「はる」の合唱、創楽会では、オリジナルの歌曲で島崎藤村やゲーテの詩を独唱しました。



第十八回ニューイヤークンサート

奉行に任命されたことを祝って同十一年(八二八年)に奉納された記念品のことです。

また、境内にそびえる御神木(檜)は樹齢八百年余

は六メートルを超え、南宮大社の御神花である椿を、昭和六年今村龍郎氏が寄進したと、元号が昭和に変わった際の記念にコウヤマキを植樹したことなどが講演の中で触れられていました。

この戸帳は文政九年に飯田藩主堀親成が幕府見付社



ふるさと学習会in長野原

表情豊かな桐林人形

ふるさと学習会in桐林

去る一月十六日、「ふるさと学習会in桐林」が、竜丘公民館で開催されました。講師は桐林の文化副部長の高橋伸幸氏でした。十余名の参加でした。今回は会場に去年の文化祭で桐林人形のパネルが飾られ、かしら、胴串、装備品等の小物の写真もあり、個性的な表情豊かな桐林人形が展示されました。前半は桐林人形の特徴、歴史を中心に、話されました。

高橋氏がパネル展示を通じて学んできた事を語られました。前半は桐林人形の特徴、歴史を中心に、話されました。

高橋氏がパネル展示を通じて学んできた事を語られました。前半は桐林人形の特徴、歴史を中心に、話されました。



ふるさと学習会in桐林

昭和三十二年から平成二年にかけて桐林人形、安城垣外、上川路人形の詳細な調査が飯田市美術博物館により行われ、色々な文庫が出版されて、資料も多いようです。



ふるさと学習会in桐林

みんなの家ぬくぬく ムトス飯田賞受賞

平成二十四年第二十八回度ムトス飯田賞にみんなの家ぬくぬくが見事受賞されました。今年で十八回目を数え地域に定着したコンサートですが、今まで以上に、出演者が身近に感じられたコンサートとなりました。

みんなの家ぬくぬくは、平成十三年度の市政懇談会を受けて、「誰もが安心していきいきと暮らせるまちづくり」の実現を図るため、竜丘地区で何をどう取り組むか住民自らが思索し、立ち上げた地域福祉を推進するための団体です。

参加費は五百円、送迎などの運営はボランティアで実施。昼食は会場内の厨房



みんなの家ぬくぬく



竜丘地域づくり委員長の
中平龍興さんが、平成二十四年十二月二十二日、お亡くなりになりました。ご冥福をお祈りいたします。